

読売育英奨学生OB会「はばたき」総会

2018年11月3日 in ホテルモンテグラスミア大阪

読売育英奨学生OB会「はばたき」の第33回総会が11月3日、大阪市浪速区の「ホテルモンテグラスミア大阪」で開かれ、本社から原文雄販売局長（奨学会理事長）、市川宗雄販売局総務ら本社幹部、奨学生OBや家族、東京・西部両OB、現役生も加わり、総勢122人が出席した。

瀧口進副会長（14期生）の司会で開会し、木口特次会長（10期生）が、「東阪西の協力はもとより、今後支部を設立し定期的な親睦、ビジネスチャンスに繋げたい。運営には多くの方々のご支援とご協力を賜り御礼を申し上げます」と挨拶。

審議事項に移り、会計・会計監査報告、役員改選、会則改定が全会一致で承認された。

来賓の原局長は、「今後とも読売新聞社へのご支援をお願いします」と挨拶。

「懇親パーティー」は、大澤菜緒美さん（45期生）の司会で進行。歴代事務局長紹介の後、市川総務による、乾杯の挨拶で開宴。恒例の還暦を迎えた会員に記念品の贈呈や、プロフィール交換ゲーム、大抽選会が行われ、東京OB会白熊会長、西部OB会飯田会長、大阪OB会木口会長によるセレモニーで東阪西の絆を確認した。さらに懐かしい写真のスライドショー上映で大いに盛り上がった。最後に、多田事務局長（17期生）は「私たちOBが、今あるのも奨学会のお陰です。このOB総会は、その感謝の気持ちを確かめ合える場所としたいと思います」と挨拶し、再開を誓い合い閉会した。

